

職員による自己評価

A環境面

・1Fの支援室が分割されたことで、児童に合わせて個別に対応できるようになり支援しやすくなった。

B児童への支援内容

・個別で対応が必要なケースについて、職員間で共有し、話し合いを持っている。

C関係機関との連携

・学校と密に連携を図り、児童の学校での様子を共有できている。

D保護者への説明責任・信頼関係

・保護者とは定期的に面談し、児童の支援内容について方向性を確認して計画を立てている。

E非常対応

・虐待防止研修やAED研修、災害時避難訓練等を適宜実施している。

保護者による評価

A環境面

・十分な活動スペースの確保ができています。
・職員の配置数は適切である。

B児童への支援内容

・リトミックを再開してほしい。
・野外活動が多いので子供が喜んでいる。

C事業所からの情報発信

・日々の活動をタイムリーに閲覧できるので満足している。
・その日に子供が出来たこと、出来なかったことを伝えてもらえるので助かる。

・父母会など必要と感じたことはないし、コロナ過なので無いのは仕方ない。

D非常対応

・緊急マニュアルを年に1回欲しい。
・不審者対応訓練をして欲しい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・適切な人員と活動スペースが確保されている。
- ・活動プログラムが固定化しないよう、毎月工作なども季節性があり工夫されている。
- ・野外活動プログラムが充実している。

【相違点】

- ・他児童施設との関りを望んでいない方が多い。
- ・父母会の必要性を感じている方が少ない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・その日の児童の様子を直接保護者に詳細に伝えることで、保護者とも情報を共有でき、介護ソフトでもタイムリーに保護者に閲覧してもらうことでも共有できている。

事業所の改善点

・保護者同士の連携について、事業者側としてどのような支援ができる検討していく。

事業所の改善への取り組み

・コロナ過が落ち着いてきた際には、見学会や父母会の開催なども視野に入れた支援を検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者との情報共有や連携はできるようになったと感じている。

保護者の中でも、父母会や保護者同士の連携に賛否があることも理解できたので、今後は両方の立場を理解しながらの対応をしていきます。

事業所名 もみじのて KIDS 駒岡

担当者 澤村 和絵